

大阪経済記者クラブ会員各位

「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」に関する実証実験の実施について ～SDGs に関連する技術・ノウハウの移転を支援～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部（野間、玉川）

TEL 06-6944-6300

080-1522-8814 (10/2のみ)

- 大阪商工会議所は、企業や大学・研究機関が持つSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）関連の技術、ノウハウおよびそれらをもとにしたビジネス事例を他の企業に移転する橋渡し事業「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム（以下、本プラットフォーム）」に関する実証実験を本日、10月2日から来年3月31日まで実施する。商工会議所が主催するSDGsに関するビジネスマッチングサイトは他に例がない。
- 本プラットフォームはコニカミノルタ株が提案。富士通株が提供するブロックチェーンを活用した「FUJITSU Intelligent Data Service Virtuora DX データ流通・利活用サービス」を利用する。本プラットフォームに参加する企業は、SDGsに関連する情報の属性や特徴を共通フォーマット「データジャケット」に沿って登録すれば、自動でデータジャケット間の関連性を可視化する「キーグラフ」（相関図）を閲覧しながら、マッチング先を探索することができる。
- 本プラットフォームは、会員制（幹事・会員・協力機関）で運営する。幹事は、本プラットフォームの管理・運営を担う企業・団体で、現時点で5社・団体（コニカミノルタ株、日本工営株、日立造船株、富士通株、学早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構）が参画予定。会員は本プラットフォームでのマッチングを希望する企業・団体、協力機関は本プラットフォームの普及・啓発に協力いただける行政・関係機関等で、いずれも今後、募集していく。
- SDGsの課題解決に取り組むことは、企業のブランド価値を向上させるだけでなく、投資家からの評価を高め、海外展開を含めた新市場の開拓にもつながる。しかし、自社だけでバランスよく取り組むことは難しく、またSDGsに貢献する技術を持つ企業・大学も、それを十分に活用できる環境を求めている。そこで本プラットフォームでは自前主義にとらわれず、製品やサービスを複合的に組み合わせ、効率的、スピーディーに最適な価値を提案する「オープンイノベーション」の手法を取り入れ、SDGsに関連する情報の流通を促進し、新たなビジネスの創出に取り組む。SDGsが達成された社会の実現は、2025年大阪・関西万博が目指すところであり、本プラットフォームはその目標達成にも貢献する取り組みである。

<「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」に関する実証実験の概要>

- 主催者 大阪商工会議所
- 運営体制 会員制（幹事・会員・協力機関で構成）
- 今後のスケジュール 2019年10月29日 キックオフセミナー開催
2020年 3月31日 実証実験の終了

※本実証実験では、SDGsのうち「環境分野」のみに限定して取り扱い、幹事企業以外の会員からは参加費を徴収しない。

以上

- <添付資料> 資料1：「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」入会のご案内
資料2：「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム キックオフセミナー」のご案内
資料3：富士通株プレスリリース

SDGsオープンイノベーションプラットフォーム

～SDGsに関連する技術・ノウハウの移転を支援～

趣旨

昨今、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」が注目を集めており、SDGsの課題解決に取り組むことは、企業のブランド価値を向上させるだけでなく、投資家からの評価を高め、海外展開を含めた新たな市場の開拓にもつながります。

しかし、自社だけでバランスよく取り組むことは難しく、また、SDGsに貢献する技術を持つ企業・大学においても、それを十分に活用できる環境を求めている状況です。

そこで、大阪商工会議所は、自前主義にとらわれず、製品やサービスを複合的に組み合わせ、効率的、スピーディーに最適な価値を提案する「オープンイノベーション」を活用し、企業や大学・研究機関が持つSDGs関連の技術、ノウハウおよびそれらをもとにしたビジネス事例を他の企業に移転する橋渡しを支援する事業「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」に関する実証実験を、2020年3月末まで行います。

SDGsが達成された社会の実現は、2025年大阪・関西万博が目指すところであり、本実証実験はその目標達成にも貢献する取り組みです。皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

※実証実験期間中は、SDGsのうち「環境分野」のみに限定して取り扱います。

特徴

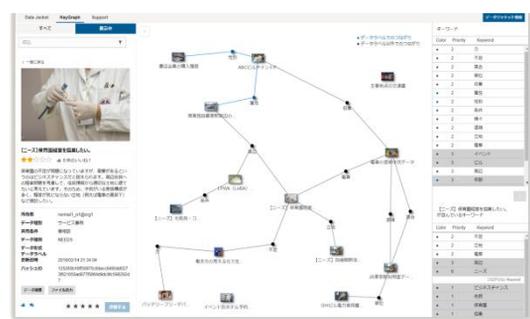
SDGsに関連する情報の属性や特徴を登録することで、自動で作成される「キーグラフ」(相関図)を参考に、詳細な情報は明かさずにビジネスマッチング相手を探索することができます。

①「データジャケット (共通フォーマット)」にSDGsに関連する情報の属性や特徴を登録

入力項目	例
タイトル	[シズ]○○○株式会社 △△△△装置
説明 (2000文字)	<ul style="list-style-type: none"> ■ シーズ・アピール <ul style="list-style-type: none"> -技術概要: 保有技術の紹介 -効果: 保有技術により得られる効果 -導入事例: 製品・技術の導入事例・導入企業等 -免責領域: これから適用したい領域 -マッチング希望: どのような企業を探しているか ■ 企業基本情報 <ul style="list-style-type: none"> -企業名: ○○○○株式会社 -企業HP: http://XXXXXXXXXXXX.com -創業年数: 専業で○○年 -表彰: ○○○モノの大賞受賞、等 -特許: 特開XXXXXX, 特願YYYYYY -認証資格: JIS, ISO, HACCP, Nadcap, 等 ■ その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> -○○大学、公設試との連携、加盟団体、地域貢献活動、等
データ種別	プライベート
共有条件	要相談
データ種類	#7, #8, #9
データ形式	空欄
データラベル	工場、コストダウン、IoT、センサー、ファクトリーオートメーション
データURL	http://XXXXXXXXXXXX.pdf 楽データの格納先URLを記載(任意)

登録された情報は「保有技術の概要や効果を記述」し、「貢献するSDGsの番号を記載」し、「技術要素をキーワードにして記載」します。

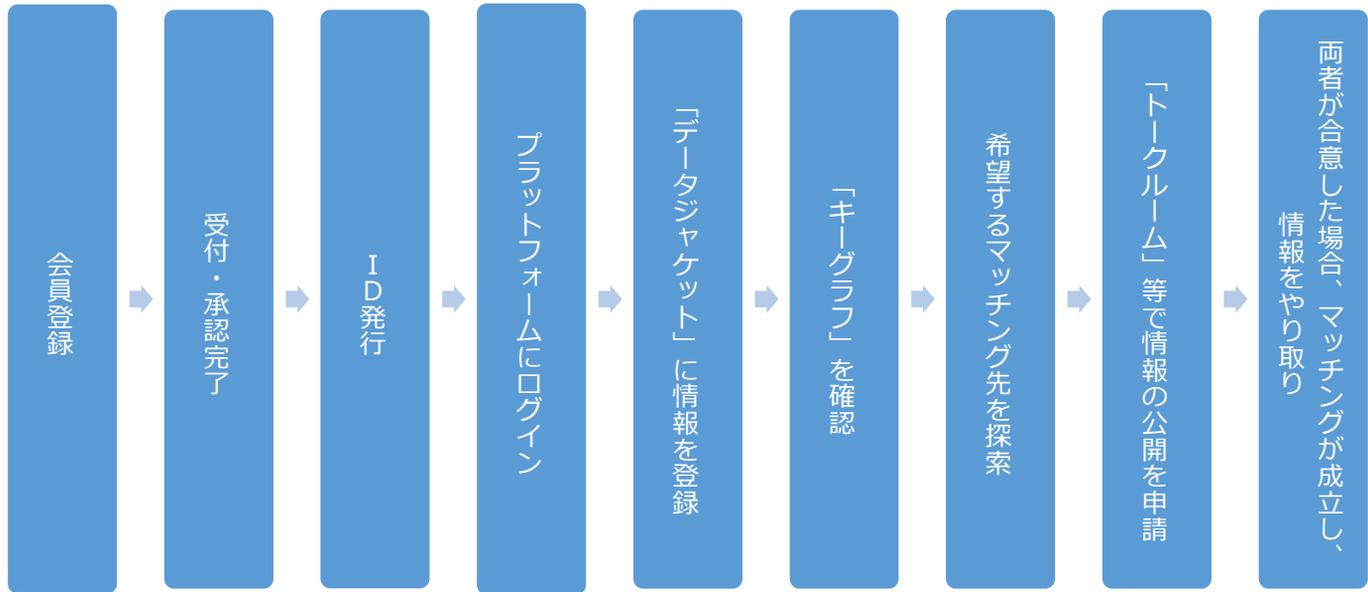
②「キーグラフ」を参考にビジネスマッチング相手を探索



③「トークルーム」(チャット機能)等を利用し、希望の相手とマッチング

登録いただく情報は自社の技術・ノウハウ・ビジネス事例に加え、探索技術、業種特有の課題やソリューションなども入力可能です。
 【例】○お客様の課題・要求・困りごと ○自社で保有する技術・シーズ ○探索する技術・製品
 ○自社で提供するサービス・ソリューション ○発想したアイデア ○社会課題 ○オープンデータ など

登録・利用の流れ



※必要に応じてマッチングを支援します。

メリット

①SDGsに関するマッチング情報の効率的な収集

本プラットフォームに登録されるのは、SDGsに関する技術、ノウハウ、ビジネス事例で、かつマッチングを希望する情報のみです。そのため、効率的にマッチング相手の情報を収集することができます。

②マッチング初期における効率的な相手先探し

通常のビジネスマッチングの場合、自社から公開する情報を限定した状態で始めようとすると、なかなか適切な相手先と出会えないことがあります。本プラットフォームのキーグラフを活用すれば、まずは自社が公開した情報の範囲内の適切な相手先を効率的に探すことができ、その後のやり取りにつなげることができます。

③想定していないマッチング相手との出会い

本プラットフォームのキーグラフ活用することで、自社が想定していない、意外なマッチング相手と出会える確率が高まります（例：全くの異業種企業が自社の休眠特許に類する技術を探していることが分かる など）。

利用料金

無料 ※2020年3月末日までは、本プラットフォームの本格的な稼働に向けた実証実験期間として、無料でサービスをお使いいただけます。

主催

大阪商工会議所

幹事

コニカミルタ(株)、日本工営(株)、日立造船(株)、富士通(株)、
(学)早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

協力機関

都心型オープンイノベーション拠点「Xport」

入会申し込み・問い合わせ

SDGsオープンイノベーションプラットフォーム 事務局

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当

http://www.osaka.cci.or.jp/innovation/open_innovation/sdgoi.html

TEL : 06-6944-6300 E-mail : sangyo@osaka.cci.or.jp



SDGsオープンイノベーションプラットフォーム キックオフセミナー



～SDGsに関連する新たなマッチングの実証実験がスタート!～

日時 2019年

10月29日(火)

15:00～17:00
(16:30～17:00 サービス体験会)

場所

(大阪府中央区本町橋2番8号)

大阪商工会議所 6階 白鳳の間

会場アクセス

定員

80名

参加費

無料



大阪商工会議所は、企業や大学・研究機関が持つ、持続可能な開発目標「SDGs(Sustainable Development Goals)」関連の技術、ノウハウおよびそれらをもとにしたビジネス事例を他の企業に移転する橋渡しを支援する事業「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」に関する実証実験を、2020年3月末まで行います。

このたび本プラットフォームのキックオフセミナーとして、金融サービスの提供を通じてSDGsの達成に取り組む、りそな銀行アセットマネジメント部の松原 稔 氏から、ビジネスにおけるSDGsの活用方法についてご講演いただくほか、本プラットフォームの紹介およびサービス体験会を行います。

SDGsの課題解決に取り組むことは、企業のブランド価値を向上させるだけでなく、投資家からの評価を高め、海外展開を含めた新たな市場の開拓にもつながります。貴社のビジネス展開の一助となるものと存じますので、この機会にぜひ奮ってご参加ください。

講演 (15:00～16:00) 「SDGsによるビジネスの新たな価値創出」

りそな銀行 アセットマネジメント部

松原 稔 氏

責任投資グループ グループリーダー

1991年4月にりそな銀行入行。2009年4月より信託財産運用部、企画・モニタリンググループグループリーダー、2017年4月より現職。

持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長・運営委員。経済産業省「ESG投資を活用した産業保安に関する調査研究会」委員。WICIジャパン「統合報告優良企業表彰」審査委員会委員。環境省・持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則共催「我が国がESG金融大国となるための戦略づくりに向けた検討タスクフォース」検討会副座長。環境省「環境サステナブル企業評価に関する検討会」委員。環境省「ESG金融リテラシー検討会」委員。

事業紹介 (16:00～16:30) 「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」事業紹介・デモ

体験会 (16:30～17:00) 「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」サービス体験会

申込方法

下記HP内のフォームよりお申し込みください。右のQRコードからもアクセスいただけます。
<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201909/D22191029028.html>



お問合せ

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当
TEL:06-6944-6300 E-mail:sangyo@osaka.cci.or.jp

主催

The Osaka Chamber of Commerce and Industry
大阪商工会議所

2019年10月2日
富士通株式会社

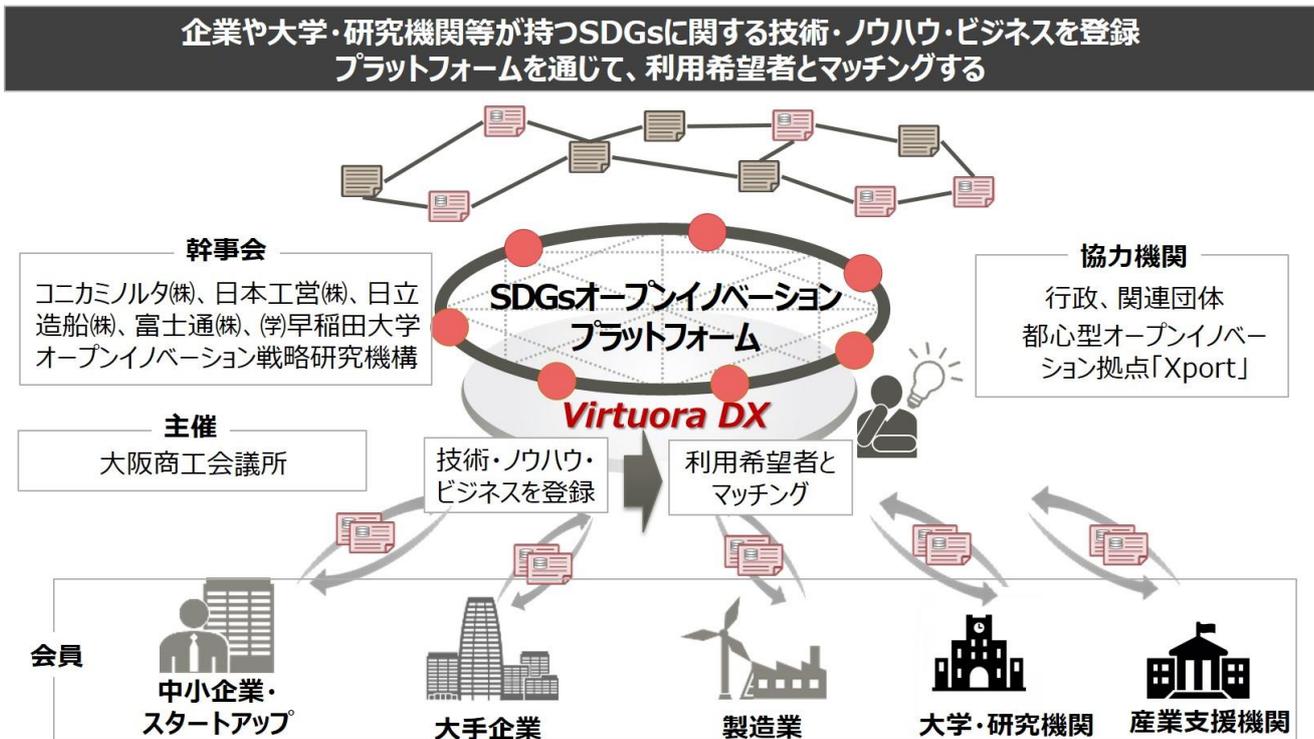
データ流通・利活用基盤「Virtuora DX」を活用し、企業・団体間の
SDGs 関連データの利活用を促進する、大阪商工会議所様の実証実験を支援
～SDGs に関する技術・ノウハウのデータ流通を促進～

当社は、ブロックチェーン技術を利用したデータ流通・利活用基盤「FUJITSU Intelligent Data Service Virtuora DX データ流通・利活用サービス(以下、Virtuora DX)」を活用して、大阪商工会議所(所管地区:大阪府大阪市、会頭:尾崎裕)様が10月2日より開始する「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」に関する実証実験を支援します。

「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」は、企業や大学・研究機関が持つSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)関連の技術やノウハウおよび、それらを活用したビジネス事例の共有により、イノベーションの創出を目的としたコンソーシアムです。

本実証実験は、イノベーション創出を目的に SDGs に関する技術やノウハウを共有したい、または必要としている企業や団体が、「Virtuora DX」上に概要を登録し、それらのデータの関連性を様々なキーワードで可視化することで、ビジネスマッチングや新ビジネス創出促進における有効性を検証します。データ自体は外部環境に置かず概要のみを記述する「データジャケット(注1)」を採用しており、安全にデータの利活用を実現できます。

当社は今後も、「Virtuora DX」を活用したデータ流通・利活用を促進していくことで、データを活用した企業のデジタル革新を支援していきます。



【 実証実験について 】

1. 期間: 2019年10月2日(水曜日)～2020年3月31日(火曜日)
2. 目的: SDGsに関する技術やノウハウなどを他の企業・団体などへ移転する橋渡し事業「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」において、「Virtuora DX」による、企業・団体間での技術やノウハウ、ビジネス事例の流通・利活用促進の有効性を検証。
3. 運営体制: 幹事、会員、協力機関で構成
 - ・主催: 大阪商工会議所
 - ・幹事: コニカミノルタ株式会社、日本工営株式会社、日立造船株式会社、富士通株式会社、
(学)早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構 (10月2日時点)
 - ・協力: 大阪工業大学 梅田キャンパスの都心型オープンイノベーション拠点である Xport(クロスポート)
4. 概要: ・参加企業や団体は、データをそれぞれの環境下に保有したまま、データの概要だけを記述する「データジャケット」の形式で、SDGsの環境分野に関する技術やノウハウ、ビジネス事例などを、当社のブロックチェーン技術を活用したデータ流通・利活用基盤「Virtuora DX」上に登録。また、「KeyGraph(注2)」により、様々なキーワードで登録データの関連性の可視化も可能。
 - ・データを必要とする企業は、キーワード検索や「KeyGraph」で可視化された関連性をもとに、適切なデータに容易に辿り着くことができるほか、コミュニケーション機能を活用し、データを保有する企業とスムーズな連携も可能。データの受け渡しは、暗号化を用いたセキュアな形式で実施。
 - ・SDGsに関するビジネスマッチングや、データ同士を組み合わせたアイデア創出、ビジネス促進における「Virtuora DX」の有効性を検証。

【 関連Webサイト 】

- ・「Virtuora DX」紹介サイト: <https://www.fujitsu.com/jp/products/network/carrier-router/dataexchange/virtuora-dx/saas/>

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 注釈 】

(注1)データジャケット: 東京大学 大澤幸生教授が考案したデータ記述モデル。データの詳細は明かさずに、デジタル情報の羅列である実際のデータ価値を人が理解できる形式で、概要や取得期間、取得場所などを記述。このシステムに関する同教授らの研究は、科学技術振興機構(CREST JPMJCR1304)などの助成を受けて推進されている。

(注2)KeyGraph: 東京大学 大澤幸生教授が提唱するデータ間のつながりを可視化する手法。多数の「データジャケット」の記述内容に含まれる単語や関連用語などの情報要素の記述頻度などを解析し、データ間の相関関係としてネットワーク図の形式で可視化。

以 上

《お客様お問い合わせ先》

富士通コンタクトライン(総合窓口)

電話: 0120-933-200

受付時間: 9時～17時30分(土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く)